

キリングroupは、熊本地震の被災地の復興を応援しています。



2019 2/6

熊本市・キリングroup・日本財団
「熊本地震からの復興の加速と
未来への礎となる担い手の育成」
に関する連携協定に基づくプラットフォーム
「くまもと未来人材チャレンジステージ」開設！



くまもと未来人材チャレンジステージ 2019年4月スタート

「熊本城・城下町」「にぎわい・観光」「食・文化」の3つのテーマを連携の柱とし、3者が持つビジョン・資源・ノウハウなどを掛け合わせ、未来の熊本を担う若手人材の育成やネットワーク構築のためのプラットフォームとして、「くまもと未来人材チャレンジステージ」を開設します。(2019年4月～)

1 くまコン(くまコンパレー プロジェクト)

STEP① 担い手の発掘とプロジェクト形成 (月1回)

※熊本市の復興に向けて、熊本を良くしようという事業アイデア(社会的な課題を解決していく起業アイデアなど)を持ったプレゼンターと応援したいサポーターとの共生プロジェクト形成の場を創出します。

2 くまスタ(くまもとスタートアップ プログラム)

STEP② 事業化支援 (年に2回10月に予定)

※熊本市の復興に向けて、熊本を良くしようという事業アイデア(社会的な課題を解決していく起業アイデアなど)を持ったプロジェクトの事業化(起業・創業)支援プログラムを推進します。

この件についてのお問い合わせ先: 事務局 (一社)フミダス 担当=濱本 TEL:096-284-1840

「くまもと未来人材チャレンジステージ」記念セミナー&説明会開催(4/22)

キリングroupと熊本市、日本財団の3者は、2018年4月に熊本城を核とした「上質な生活都市」の実現と中心市街地の持続的な発展のために、「熊本地震からの復興の加速と未来への礎となる担い手育成」に関する連携協定を締結。同協定に基づき、2019年5月より、熊本市中心市街地の若手事業家等の人材育成やネットワーク構築を目的としたプラットフォーム「くまもと未来人材チャレンジステージ(略称くまチャレ)」が始まりました。

それに先立ち4月22日には、「くまチャレ」の説明会と記念セミナーが開催され、参加希望の熊本市中心市街地の若手事業家や起業希望者、若手農業生産者、行政関係者など120名余りが参加。記念セミナーでは、企業の社会性を重視した投資で注目を集める株式会社umo代表取締役・新井和宏氏を講師に迎え、「社会をよくなる事業をつくる」と題して講演しました。



くまコン5月会開催(5/22)

キリングgroupと熊本市、日本財団との3者間で昨年4月に締結した協定に基づくプラットフォーム「くまもと未来人材チャレンジステージ」がスタート。5月22日には、同事業の担い手発掘を目的とした第1回「くまコン(くまコンパレープロジェクト)」が開かれました。熊本を盛り上げるアイデアを発表するプレゼンターとして、オモケンパーク代表の面木健氏、熊本県立大学の学生3名の計2組が発表を行いました。



「ソーシャルグッドな場をつくる～まちの新しい機能を考える～」

熊本地震の影響で所有していたテナントビルを解体することになり、跡地利用が課題でした。そこで考えたのが、「人々が出会い、心をつなぐ場」、それを、2年間掛けて形にしたのが「オモケンパーク」です。建物は壊れ、アーケード内にありながら空が見える空間を設け、そこで得られる自由を皆でシェアするという考えです。

オモケンパーク代表 面木 健 様



「ファッションの風か～大学デビューによる「ファッションの街熊本」再興戦略～」

私たち「学生」は、「自分から動かない」「何も考えていない」と思われがちです。それを払拭するには「アチ自己変革」が大事だと考え、「熊本の街を学生たちの自己変革のきっかけの場、自己表現できる場になりたい」と思いました。その具体策が「大学デビュー」した1年学生をファッションでプロデュースするです。

熊本県立大学総合管理学部総合管理学科4年 坂戸 一 様、宮崎 涼 様、永本 海 様

くまコン6月会開催(6/26)

6月26日の第2回「くまコン」(6月会)には、前回を上回る約70名が参加。熊本大学と熊本県立大学の学生3名と、長年熊本で暮らし、熊本の魅力を訪日外国人に発信しようとする取り組みをしているジェイソン・モーガン氏がプレゼンを行いました。プレゼン後に行われたプレインストミーングでは、それぞれの企画に対してさまざまなアイデアが寄せられ、活発な意見が交わされました。



「大学生による外国人向け観光ツアーガイド団体の立ち上げ」

熊本では、せっかく英語を学んでも外国人と交流する場は多くありません。一方で訪日外国人の数は年々増えており、熊本もより深い魅力を発信していく必要があるとします。そこで、私たち大学生がツアーガイドとして案内することで、観光交流を盛り合わせた活動ができます。

熊本県立大学3年生 松田 崇志 様、熊本県立大学1年生 橋本 大 様



「外国人が求めている熊本の魅力発信」

熊本のこと大好きで、熊本の良さを知りたい外国人に知ってもらいたいと思いで、今年3月に訪日外国人向けの観光案内「熊本マップ」第1号を発行しました。紹介するスポットなどは「外国人が求めているもの」を選んでいますが、どうすればより使ってもらえるかなど、活発なアイデアを求めています。

株式会社アドストラ ジェイソン・モーガン 様

Topics

2019 3/9-10 全国の武将隊が集結! 「戦国パーク」に協賛

3月9日・10日の2日間にわたり、熊本城の復興を願って開催された「戦国パーク」の復興の礎2019」。全国各地で活躍する15の武将隊が熊本城二の丸広場に集結しました。キリングgroupでは、熊本市(お城まつり運営委員会)などが主催する同イベントの趣旨に賛同し、「復興支援 キリン絆プロジェクト」熊本支援」の3つの柱の一つ、「地域活性化支援」の一環として特別協賛。熊本城を核とした中心市街地の賑わい創出に貢献しました。



2019 4/11 「復興応援 キリン絆プロジェクト」熊本支援事業 Next Stageカンファレンス ～復興から未来～を実施

「Next Stageカンファレンス」には、キリングgroupが熊本県、日本財団との3者間で取り組んできた「復興応援キリン絆プロジェクト」熊本支援」の助成を受けた各プロジェクトのメンバーが参加。これまでの課題と解決策について意見交換会を行いました。さらに、その議論を基に行政等と連携・協働を推進するための全体発表会を実施。加えて、くまチャレの追加、キリンビールの商品・営業戦略についての発表や、参加者同士の交流会も行われました。



2019 5/31 6/2 キリン『絆』ボランティア

キリングgroupでは、熊本地震の記憶を風化させないことと、従業員自らが復興支援に参画し、当時の状況や現状を知る活動として、「キリン『絆』ボランティア」を通じて、現地の視察を行っています。3回目となる今回は、応募者から選ばれた49名が参加。5月31日～6月2日にわたって実施しました。2日には、被害が大きかった地獄温泉(南阿蘇村)の視察のほか、南阿蘇鉄道・長門駅周辺の線路内の除草・清掃活動に汗を流しました。

